

2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024年10月16日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県大町市大町 1548

団体名 大町流鑓馬太鼓演奏委員会

代表者職氏名 演奏委員長 北澤 真二



2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

「大町流鑓馬太鼓」はおかげさまで創立50周年を迎えることができました。
より多くの子どもたちに和太鼓の楽しさと魅力を伝えるため、プロの和太鼓奏者を招いて和太鼓ワークショップを実施しました。
プロ奏者林田ひろゆき氏から提供された難しい楽曲を新規のメンバーの子どもたちも毎日のように練習を頑張り、9月21日に実施した記念コンサートではプロ奏者と共に、大人も子どもと一緒に合同演奏を披露しました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

新規メンバーとなった小学2年生1名、小学4年生2名の為の子ども用の担ぎ桶太鼓を購入することができました。
軽く使いやすい太鼓を使って日々練習にも打ち込み、50周年記念コンサートでは、皆で演奏することができました。
コンサートで子どもたちの演奏を見た小学生が新たに加入してくれることになり、大きな成果と実感しています。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

この度は当団体に助成いただき、心より感謝申し上げます。

お陰様で子ども用の担ぎ桶太鼓を3台購入させていただくことができました。小学生の新規メンバーも記念コンサートという大舞台に向けて日々練習に励み、めきめきと上達する姿に大人も刺激をもらいました。

大町流鑓馬太鼓創立50周年記念コンサートも盛況に終えることができ、子どもたちが「とっても楽しかった！」と目を輝かせて言ってくれたことは何より嬉しく思います。今後も和太鼓という地域に根差した伝統文化を継承するとともに、地域の子どもの健全育成、笑顔があふれるような活動を続けて参りたいと思います。

今後とも子どもたちの成長を見守って、応援いただければ幸いです。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



小学4年生、小学2年生も使いやすい担ぎ桶太鼓を購入することができました！



大明流賊萬主統帥周自齊已出封了。和人的官廳雖在城裏，一



2024 年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2024 年 8 月 19 日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市大町 2544 番地 4

団体名 特定非営利活動法人キッズ

代表者職氏名 代表理事 福島百子



2024 年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024 年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

放課後等デイサービスの夏休みの事業として、一昨年までは川遊びを行っていましたが、熊の出没が心配されることから、昨年事業所の敷地内にビニールプールを設置し水遊びを行うことにしました。昨年は急な対応であったため傷んでいる資機材をだましだまし使っていましたが、今年は月と風の子ども基金様から助成金を頂戴し新しいものに買い替えることができました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

まず、熊による被害を回避しながら水遊びを行う環境を整えることができました。

子どもたちは、午前中の学習の時間には宿題に取り組み、午後の遊びの時間には嬉々としてプール遊びに興じています。メリハリの利いた夏休みの生活ができていると感じます。プール遊びは、五感を刺激し、バランス感覚を磨き、体力が付きます。また、道具の使用上のルールや順番を守るなど社会性を育てることに役立っています。

家庭の事情により旅行等に出かけられない子どももいる中、少年期の夏休みの楽しい思い出の一つになってくれればありがたいと考えています。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

プール遊びをしているときの子どもたちの目はキラキラしており、多くのことを吸収していると感じます。

月と風の子ども基金様には、昨年に続き助成金を頂戴し心から感謝申し上げます。今回購入させていただいたテントやプールにつきましては大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

実施写真



購入物品

タープテント、大型折り畳みプール



同上

タープテント、大型ビニールプール



プール遊びの注意



プール遊び



同上



同上



プール遊び



同上



同上

(様式第3-1号)

2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年 6月 30 日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県北安曇郡白馬村北城10626

団体名 Wonders Art and Music

代表者職氏名 北澤 麻希



2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

2024年12月22日10:00~15:30に白馬村ノルウェービレッジにてクリスマスイベントを行いました。音楽と創作と学びの融合の場を目指し、クリスマスコンサート（ヴァイオリンとピアノ）・ドレスオーナメント作り・地球史を学ぶテープ作り・ラッピングペーパー作り・刺繍・音楽リトリック・お正月飾り作りを1日を通して体験いただけるイベントです。お正月飾り作りとコンサートは時間が決まっていますが、それ以外は自由に好きなタイミングでブースを回り、好きなように時間を過ごしました。音楽を聴きながらものづくりをするという、五感で楽しめる心温まるイベントを目指しました。2025年6月22日10:00~16:00に同じく音楽と創作と学びの融合の場としてワークショップを開きました。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

当日は警報級の大雪で参加できなくなってしまった方もおられましたが、親子で20名（当初は25名の予定でした）の方にご参加いただきました。参加者は音楽と創作という非認知能力を使った世代や学年を超えたコミュニケーションをし、1日さまざまな体験ができたことが子どもたちの幸福度の向上や豊かな経験に繋がっていく時間になりました。音楽コンサートを聴きながらものづくりをするという、贅沢な時間になりました。ご参加いただいたお子様のお母様からは「白馬村の文化活動を支えてくださりありがとう」「帰ってきた子どもたちからとても楽しかったと聞き、参加して良かった。ぜひまた行きたい」という声をいただきました。リピーターの方が多く必要とされている活動で、白馬村はスポーツやアウトドア活動が盛んな中、文化活動ワークショップがないので、できればもっとやれたら良いなと思っています。リピーターの方が多く、わたしたちもこどもたちとのコミュニケーションを楽しんでいます。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告(メッセージ)

このような基金を作って下さって心から感謝を申し上げます。
今回関わった講師陣は7名で、わたし1人でやることはボランティアで行えても、このような基金があることで、イベントを企画する際に子どもたちへ内容がより深く濃いプログラムが行えます。上記にも書きましたが、地域の方々からも開催の感謝の言葉が多々あり、その機会を与えていただいたこと、基金を設立してくださり、ありがとうございます。
改めて、このような豊かな時間を作り出すことを後世も行っていきたいことだと確信し、いつか社会保障や基金を作れるように、人々が生きる社会の仕組みをよりよくしていきたいという気付きにもなりました。その気付きを、今後もワークショップなどを通して表現していきたいと思います。気持ちや知識、経験をシェアしていくことが、人が生きる上で最上の喜びなのではないかと思います。今年度からは児童養護施設での活動も始まり、引き続きファシリテーターとして技術を磨き表現の場をいろんなところに作りたいと考えております。本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付書類)

- (1) 収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)

月と風のこども基金 活動報告②

6月22日 創作・音楽・学びワークショップ 10:00~16:00 @白馬ノルウェービレッジにて
クリスマスイベントに参加できなかった講師の方がいたため残ってしまった助成金を活用させていただきました。音楽と創作両方に取り組み、そして読書や宿題もできるという空間で、当日は10時から16時まで、好きな活動に取り組み、また今回はおやつ付きにしました。
保護者の方とのづくりを一緒に楽しむ姿も素敵で、改めて地域にこのような音・創作を通して個々の想いを表現する、交流する場が必要だと感じました。こども参加者 18名





WONDERS ART AND MUSIC
presents

クリスマスコンサート と ものづくりワークショップ

12/22(日)

10:00~15:30

白馬ノルウェービレッジ

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城3476

音とあそぼう

リトミック&コンサート

参加費
無料

しめ縄作り

白馬で育った自然素材で作るよ

講師:武田克明さん

13:00~ リース飾り(定員10名低学年向け)

14:40~ 横飾り(定員10名高学年向け)

10:30~11:00

クリスマスリトミック

14:00~14:30

ヴァイオリン・ピアノ

コンサート

川瀬麻日香さん、平野友理さん

各場所を
自由に回ろう

ワークショップ

10:00~12:00

○楽器をさわってみよう
作曲してみよう

○地球史を1メートルで表現しよう

○フェルトでドレスの形の
オーナメントを作ろう

13:00~15:00

○クリスマスタペストリーを作ろう!

○紙刺繍でカードを作ろう 講師 山内 容子さん

主催者 Wonders Art and Music

子供たちのワンダー(好奇心)とともにワクワクする体験をワンダース(12個)以上作っていきこうという想いから生まれたNPOのグループです。連絡先:北澤麻希 08055227362 give0612@gmail.com

ご予約は
フォームへ



寒いけれど楽しいことがたくさんある
冬のひととき、創作と音楽で彩ります。
お弁当などを持ってきて飲食ができます。
小学生以上は子供だけの参加が可能です。

大町市「月と風の子ども基金」
助成イベント

当日の様子
音遊び&リトミック



各種ワークショップ&読書コーナー



クリスマスコンサート





お正月飾り作り





2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年 8月 31日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 北安曇郡松川村5650-19

団体名 松川こどもカフェボランティア会

代表者職氏名 三 崎 裕 子



2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

- | | |
|-------------|---------------|
| ・弁当作り | ・ハロウィンパーティー |
| ・防災食 | ・餅つき |
| ・正月遊び | ・進級・進学お祝いメニュー |
| ・お花見スタンプラリー | ・ビーズ手芸 |
| ・春待ちコンサート | |

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

何もかも値上がりし、今まで余裕をもっていただいていたお米も手に入りづらい状況の中、助成金のおかげで、来ていただく方々にお断りすることなく食事の提供ができ、我こどもカフェの特徴でもある季節の行事やイベント、こども達の大好きな工作や手芸、音楽会など工夫をした内容も続けることができました。

以前から要望もあった「朝ごはん」も新たな取り組みとして年4回スタートさせ、好評を得ています。近頃では「ただいまー」と声をかけてやってくる子どもさんもいて、より身近で安心できる居場所になってきていると感じます。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告(メッセージ)

今回もご寄付いただくことができ、スタッフ一同心より感謝申し上げます。3月からスタートした「朝ごはん」の一步を踏み出す後押しにもなった気がします。
こどもさん中心に様々な人々が安心して集い、笑顔に満ちた居場所づくりを目指して有効に使わせていただいています。
本当にありがとうございます。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付書類)

- (1) 収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)







親子連れ 楽器や演奏親しむ

松川 子どもカフェ「春待ちコンサート」

松川町の「松川こどもカフェ」リズム(三歳から五歳)の親子連れが、楽器を演奏し、歌を歌った。

を村すの音ホールで開いた。村内の親子連れなどが参加し、生の音楽に親しんだ。

村の「第1回サンパル」で、大北地域で活動する音楽愛好家が共催。春にちなんだ歌謡

曲やアニメソングなどを和楽器で奏でたり、弾き語りをしたり、参加者と一緒に歌うなどした。打楽器や鍵盤などの楽器を自由に触る時間を設け、子どもたちが興味深々な様子で自由に奏でた。

ランチには、県外の30代男性から寄付されたお肉をふんだんに使ったカツカレーが登場し、約50人が舌鼓を打った。



和楽器に親しむ参加者たち



春にちなんだ歌を届けたコンサート

書き初めを体験する子どもたち



券「松川村くらしの店」負担を減らし、村内経
「援券」を配布する。須 済の下支えとなる支援
所を持つ事業者で使え

家族で楽しむ正月遊び

子どもや親との居場所づくりに取り組む、松川村の松川こどもカフェが4日、新年最初の活動を村すずの音ホールで行った。村内外から家族連れなど約50人が参加し、お正月伝統の遊びやボランティア手作りの料理などを楽しみながら交流を深めた。

参加者は手作りのカルタや羽根つき、コマ回しなどお正月

松川こどもカフェは毎月第

松川こどもカフェ新年スタート

した食材などを使ってボランティアが調理した、おにぎりや肉じゃがなどに舌鼓を打っていた。

いになってほしい。参加者とボランティアのつながりが強まることで活動の輪が広がっていく」と話した。

一息つける場所に

子どもや親との居場所づくりに取り組む、松川村の松川こどもカフェが4日、新年最初の活動を村すずの音ホールで行った。村内外から家族連れなど約50人が参加し、お正月伝統の遊びやボランティア手作りの料理などを楽しみながら交流を深めた。

月ならではの遊びを体験。冬休みの宿題を手助けするため書き初めも用意され、子どもたちが今年の抱負などをしたためていた。JA大北が提供

1・3土曜日にすずの音ホールで開催。食事や音楽活動、学習支援などを通して多世代交流を図っている。三崎裕子代表は「誰にとってもホッと

予算総額は事務費などを含め1億3000万8000円で、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4210万8000円に加

松川村公民館・村SC設立準備委員会
は、1・3月の第2・4火曜日に「ボールウォーキング講座」を川西運動公園スポー

ボール場で開く。NPWA(日本ボールウォーキング協会)認定BCインストラクター1で松川村の地域おこし協力隊の大森幸樹さんが講師を務める。

午後1時から1時半まで講座、3時までは茶会。参加費は各回500円。定員25人。先着12人にボールレンタルあり。初回は14日。申し込み・問い合わせは同館云0281-2481まで。

人に加え、それ以後の転入者や出生者にも配布する。2月中旬に世帯主に郵送で届く見直しで、使用期間は3月1日から8月末まで。

2本のボールでウォーキング
松川で講座1・3月

ボールウォーキングは、2本のボールを前につくため、よい姿勢で安全に、かつ上手にシェイプアップしな

ンクすることができ
る。

餅つき「いしょ!」力合わせ

松川 こどもカフェ・リズム 冬の催し



松川村の信州こども
カフェ「松川こどもカ
フェ・リズム」は21
日、餅つきを村すすの

来場し、冬の風物詩を
満喫した。
音ホールのテラスで開
いた。100人以上が
寄付されたもち米12

力を合わせて餅をつく子どもたちも

升を使用「いしょ!」
の掛け声とともに、子
どもも大人も順番に、
力いっぱいきねを振
るった。ポンティア
スタッフがつきたて
の餅をちぎって、大根
おろしとあんこ、きな
粉を手早く絡めた。ス
タッフ手作りの具たく
さんの豚汁や煮物、漬
物なども用意された。
参加者は、つきたて
の餅を頬張り、お代わ
りも。休園預金を活用
したパンの提供や、来
場者によるお菓子のフ
レゼントなどもあり、



つきたての餅を手早く配った

子どもたちは大喜び
だった。
スタッフらが、前日
から準備に精を出し、

当日も、大勢が応援に
駆け付けた。
1年間を振り返り、
三崎裕子代表(88)は

「いろいろな人が
関心をもって協力
くれる。ありがた
と感謝していた。



餅を頬張る子ども

「天然水北アルプス信濃の森工場」

限定天然水のかき氷

「みずのわカフェ」で8月末まで

「のサント
アルプス
限定のかき氷が人気を集
めている。

（850円）、信州産
白桃（650円）、信

「みずのわ
カフェ」
北アルプス天然水で
つくった水はあわわ
な食感。シロップは人
気のかき氷店がプロ
デュースし、信州産い
ちじみル（750
円）や信州産いちご

もカフェ リズム（三

手作り七夕メニュー味わう

松川「こどもカフェリズム」で提供

松川村の「松川こども
カフェ リズム（三
月）の七夕にちなん
だ七夕メニューを提
供した。村の観光農園
「おひさま」のメン
バーが手作りした七
夕まんじゅうが振る舞
われた。

「七夕まんじゅう自
ら提供されたキュウリ
やトマトが、お土産用
にたくさん用意され
た。



「七夕まんじゅう自
ら提供されたキュウリ
やトマトが、お土産用
にたくさん用意され
た。

「七夕まんじゅう自
ら提供されたキュウリ
やトマトが、お土産用
にたくさん用意され
た。

「七夕まんじゅう自
ら提供されたキュウリ
やトマトが、お土産用
にたくさん用意され
た。



七夕にちなんだご馳走を味わう家族

州産白桃とヨーグルト
練乳（750円）を用
意している。
「みずのわ」は予約なし
で入場することができ
る。かき氷の提供期間
は8月末まで。カフェ
では軽食やドリンクも
用意している。

8月中の営業は平日
の月・火曜日を除く毎
日で、午前10時から午
後4時まで。
問い合わせは同工場
予約受け付け05
0・3182・791
1まで。

当「こども」は小学1年
生の娘と菜摘した母親
は「アパート暮らしな
ので、野菜がありがた
い。役に立っていま
す」と感謝していた。
料理好きな松川小4
年生の坂本康太郎君
は、「こどもカフェで調
理を手伝っている。今
回初めて揚げ物に挑戦
したといい」「めっちゃ
楽しかった」と満足気
だった。

回 覧

6月16日

一緒に運営していただける方
ボランティアスタッフ

募集中!

子どもさんがひとりでも安心して
くることのできるカフェです
地域の中で安心できる
居場所づくりを目指します



小学生以上はおいで!
子どもだけでも

ふらっとおいで!

大人だけでも誰でも

松川こどもカフェ
愛称リズム

ごはんはひとりで食べるより
みんなで食べたほうがおいしい

子どもさんだけで参加の方は
緊急時連絡先が
わかる様にお願いします

松川こどもカフェ
毎月 第1・第3土曜日

会場の都合によりお休みになることがあります
休みの場合 事前にお知らせします

場所：すずの音ホール2F

10:00 OPEN 13:30 close

食事提供時間11:30~13:00



Instagram
見てください

できるだけ事前予約をお願いします。

主催：松川こどもカフェ・リズム

共催：一般社団法人シュタイナー療育センター
松川村社会福祉協議会

子ども無料

(高校生まで)

大人500円

水曜までの事前予約で
10%引き

松川こどもカフェは
ボランティアで運営されています。
活動に協力して下さる方を
募集しています。

食材の寄付
カンパ募集中!!

求む!!地元の野菜!!食材
工作用品 カンパ大歓迎!!

SNSからの申し込みもできます。

予約、お問い合わせ先
Instagram または

松川村社会福祉協議会
電話番号 62-9000

松川町

こいもカフェ リズム



朝ごはん

完全予約制

献立表

あにぎい

みみ汁

印火焼

イセ

たらこ
めんたい
こんぱ
しや
ネギ
ゆか
わか

小松菜
ごちそう
大根の煮物
りんご

3/25 (火)

7時半 ~ 8時半

場所: okko

いっものスタッフ



高校生まで

無料

大人200円



申し込みはこちら

インスタのDM・社協TELでもOK
62-9000

申し込みは

23日まで!!



おひさま畑

無料収穫券



松川子どもカフェ

おひさま畑

無料収穫券



松川子どもカフェ

おひさま畑

むりょうしゅうかくけん



まつかわ子どもカフェ

おひさま畑

むりょうしゅうかく券



まつかわ子どもカフェ

おひさま畑

無料収穫券



松川子どもカフェ

おひさま畑

無料収穫券



まつかわ子どもカフェ

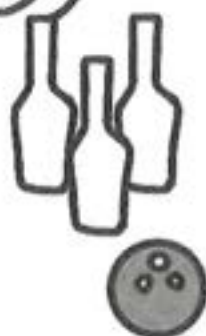


くもの巣

ドラキュラを 2024
やっつけろ!



おばけ
ホーリング



おばけを
つかまえる

おばけ
倒し



トリック
ア
トリート

ハッピー
ハロウィン

名前



2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年1月10日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市美麻 8766-B

団体名 みあさの森

代表者職氏名 根本 薫

印

2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

- ・市民観光バス「ぐるりん号」のチャーター
- ・宣伝のためのチラシ作成
- ・当日の昼食材料費

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

・中山間地においてこどもたちだけで移動することは不可能であり、また駐車場が確保できない中、シーズンオフで利用のない市民観光バス「ぐるりん号」の運行はほぼ満員の状態。路上駐車といった地域への迷惑をかけることもなく、こどもたちだけでも安心して参加することができた。また、今回ボンネットバスが最終運行となり、通常の市の観光ルートではない場所だったが多くのこどもたちと見送ることができた。

回を重ねるごとに参加者が多く、主催者側で用意する昼食食材が足りない状況であったが今回は地域食材を多く取り入れながら、お腹いっぱい提供することができた。

(様式第3-1号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

この度は多大なご寄付をありがとうございました。

このこどもたち中心のお店が並ぶマルシェも12回目

無事に開催することができました。

当施設までの交通手段や駐車場の確保は長年の問題ですが、

こどもたち中心の企画は参加費の値上げがしづらい中、運行費の値上げもあり頭を抱えていました。

こどもたちの自立をもこの企画の目的にある中で、市街地からのシャトルバスは本当にありがたかったです。

少子化と言われている大北地区ですが、今後もこどもたちが伸び伸び成長していけるよう、子育て支援活動していきたいと思っております。

今後ともあたたかく見守っていただけましたら幸いです。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

（1）収支報告書（様式第3-1号）

（2）収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）

（3）活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）

（4）その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）



「ぐるりん号」は市街地と森を
5往復
老朽化によるラストランをこどもた
ちと見送りました。



出店者20組以上、100人以上が森に集まり賑やかなマルシェとなりました。
作ったものだけではなく、バイオリンの演奏などもありました。















2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年 3月31日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県北安曇郡池田町池田 4371-1

団体名 実家の茶の間

代表者職氏 代表 曾根原鈴美
名



記

冠基金名 2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

夏休み講師による自然観察と野外活動、河原遊び、河原での遊びのため普段の高齢スタッフでは対応が大変なので若い方をお願いしました。このために見守りの謝金が発生したものです。ただし今回、他の助成金で対応したため、結果夏休みのイベントには本助成金を当てませんでした。

八幡社お祭りでふるまい焼きそばは行いませんでした。その代わりたこ焼きは大変上手にでき、皆さんから誉められました。子どもたちがせっせと作り陳列するのを見たら、昨年と比べずいぶん成長したなあと感じました。中学3年の女性が参加したことで、みんなを引っ張ってくれ、子どもたちの自発性が一層引き出されました。

さつまいも掘りイベントで高齢者が重いテントを運ぶキャリアが役立ちました。この日の特徴は障害のある高齢者の参加で、リハビリかねて子どもたちとの交流も楽しかったようです。同じ日の高瀬川火祭り豚汁具材を実家で切ってもらって現地でふるまいました。とはいえ、切ったのは小学生でしたが、ふるまってくれたのは中学生の女性だけ。いつの間にか小学生はいなくなっていました。

冬応援企画の餅つきは大盛況で、遠方の参加者が二組ありました。伝統的な餅つきをやってみたいと、子ども達よりお父さんお母さんたちが張り切っていました。凧あげは時間を持て余すのではないかと心配したのですが、みんな頑張って作ったので、自分の凧を嬉々としてあげていました。書きぞめはやる予定ではなかったのですが、たまたま習字の道具を学校に忘れてきた子が、ここで書けるなら書きたいというので書いてもらいました。道具類は置いてあるので対応できてよかったです。

10月サツマイモイベント後、放課後に子ども達が来るようになり、おやつ提供始めました。そのお菓子等対象にして頂ければと一応計上させていただきました。

まだこの後3月の雛飾りと春休み応援企画がありますが、予定の助成金分を使いましたのでこれまでの分だけを報告させていただきます。

3. 事業の成果(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

新しいテントはお祭り、サツマイモ掘りにしか間に合いませんでしたが、次回は苗植え、高瀬川観察に使います。想定以上にテントが重かったのと、コンロの代金が予想を外れて安かったため、その分でキャリーを購入させていただきました。高齢スタッフは大助かりでした。去年の水やりは川から汲んだ水を運ぶのに、一輪車でした。子どもにはできない高齢者にもきついので水やりの回数が少なかったため不作となってしまいました。これを話したところ、保護者から子どもにもやらせようと申し出があり4輪キャリーの購入に至りました。

10月のサツマイモイベントの後、放課後の子どもが時々来るようになりました。その結果、これまであまり重視してこなかった学習支援を子どもの要望で始めました。今回はテスト対応の為だけでしたが、長期休みもこれまでのイベントだけでなく、室内の学習も取り組まなくてはいけないかと考えています。また、放課後、継続してやって来ている子のためにおやつ、見守りを考えなければいけないのですが終日はかなり難しく、スタッフはいなくても5時半まではいていいようにしてあります。最後の点検はいつも行っている。保護者には以前から感謝されてはいましたが、今年一番の成果はイベントを通して、中学

(様式第3-1号)

生になっても続けて来る子の居場所を作れたことでしょうか。

そういえば、高校生になっても、今日部活が休みだったからといって来てくれ、近況を報告してくれた時はもっと嬉しかったです。

4 寄付者様へのご報告(メッセージ)

普段でも赤字を善意の寄付で賄っており、物価高でほんとに苦しかったのですが、おかげさまで例年と同じ程度の自己拠出で乗り切れそうです。

発足から9年。スタッフの年齢も上がって後継者を考えなくてはいけない時期になっていますが、体の続く限りあと5年くらい？はがんばります。またこの物価高はいつまで続くのか。実家の茶の間だけでなく全国の子ども食堂が悲鳴を上げているのではないかと思います。貴重なご寄付にはただただ感謝しかありません。ありがとうございます。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付書類)

- (1) 収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)



石の観察・蛾の観察・河原で
水遊び・BBQ用調理。



うまくできたタコ焼き・たこ焼き売り場の垂れ幕・おもてなしのお弁当テントはって売り場作り



重いテントの運搬にキ
ャ
リー



子ども高齢者も楽しみました。



高瀬火祭り豚汁ふるまい



今年は少しま
く
な
った 鏡餅作り



餅ではなくマシュマロ焼



冬やすみ後半も遊
びに来たよ



i padのゲーム
とペンでOX付け
るアナログゲーム



2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年8月31日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 大町市大町 3302

団体名 つくしの会

代表者職氏名 会長 平林みえ

印

2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

- ・学習支援・・・会員による宿題や自主学習のサポートをした。休憩時にはゲームなど楽しんだ
- ・相談支援・・・参加者や保護者からの相談に乗り、福祉関係者につないだ
- ・食料配布・・・フードドライブにより提供を受けたおやつを配布。簡単なおやつ作り（ホットケーキにトッピング、ヨーグルトにジャムなど入れる、ゼリーにトッピング、パウンドケーキにトッピング、クリスマスケーキに飾りをつける等）をして皆で会食した
- ・その他（多世代交流）工作やイベント（「みんなで歌おう」「クリスマス会」「エコで災害にも役立つ折り紙」「英語であそぼ！」）開催
- ・ランチの提供・・・大町市の子ども食堂「このみ食堂」とコラボしてカレーライス、サラダうどん&そば、具たくさんソーメン。（4月よりランチの提供を始めた）
- ・他団体が開催するイベントへの参加・協力（大町市社会福祉協議会主催の「こどもまつり」、ライオンズクラブ主催の「子どもカフェ」）

(様式第3-1号)

3. 事業の成果(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

- ・子ども～大人まで、学びたい人の手助けをすることができた。
- ・おしゃべりしながら、子育ての相談に乗った。社会福祉協議会担当者と情報共有した。
- ・フードドライブにより提供された食料品や文房具を配布することができた。
- ・みんなで楽しくおやつやランチを食べることができ、会話も弾んだ。
- ・他団体ともコラボすることができた。

以上の取り組みにより、参加された地域の子ども大人、それぞれの居場所づくりができ、学び楽しく過ごすことができた。

4 寄付者様へのご報告(メッセージ)

コロナ禍の中で始まった子どもカフェですが、おかげさまで継続して取り組むことができ、今年はランチの提供もできるようになりました。
今後ともよろしくお願いいたします。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付書類)

- (1) 収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)

来季J2復帰向け健闘誓う

松本山雅FC ホームタウン大町に報告

「サッカードJ3松本」
 稚FCは16日、ホーム
 タウソンの大町市で今
 シーズンの活動報告を
 行った。今季加入した
 塩原市出身の樋口大輝
 選手（23）や小澤修二
 社長らが市役所を訪
 問、市越前市長に感謝
 への感謝を述べ、来季
 のJ2復帰に向けて健
 闘を誓った。

山越は今シーズン、
 終盤に5連勝を達成し、
 16勝12分10敗のリーグ
 4位、J2昇格プレー
 オフに進出。決勝で
 リーグ3位のカタレ

生糸市長にフラッグを贈る樋口清年



牛越市長にフラッグを贈る横口選手

中6期と巨額、3候補に極大差をにじませながらも、「地元」の選手が活躍すれば、地域が盛り上がる。子どもたちに青春を見せられるよう、もっと頑張りたい」と結んだ。

牛越市長は横口選手からサイン入りのフラッグと記念シャツを受け取り、「一歩でもう一歩だった。シーズン最後の快進撃は来年にもつながる。来季に向けて戦力を立て直してほしい」とエールを送った。



工作やケーキXマス堪能

大町社協「ほつとスヘース」が催し

大町市社会福祉協議会が開いている、子どもたちの学習環境と居場所づくりの場「ほっ

クリスマス気分を演出した。
 工作では年表バックや身近にあるものを使って、クリスマスツリーやクリスマスにちなんだ飾り物などを製作。テーブルに飾り付け、クリスマスのお話を



認知症基礎知識と対応学

大町市 認定看護師招きサポーター講座



大町市の「大町会館」で16日、認知症サポーター・ステーションの講座が開かれた。大町市助産師会館で認定看護師の岡本亜由子さん（49）を講師に38人が受講し、「認知症になっても大丈夫な大町市」を目標と話し、生きた

市北部・南部の各地域包括からの事例報告も行われた。市内の認知能力フェー・オレンジ・カプエの実態状況や、カプエ以外の集いの場の報告もあった。実際にカプエを運営している参加者も多く、会場からの意見発表があるなど活発な学びと情報交換の場となっていた。

クリスマス
空を楽しん
だ



うまみが濃縮!! 青森県産大きなベビーホタテ!?

青森県平内町はなんと日本で一番のほたて産産量を誇る町です！
原料となるほたては日本海と太平洋から豊富な栄養が入り込む陸奥湾で育てられ
ます。体質濃味のほたてを氷掛け当日にスチーム＆急速冷凍で美味しさをぎゅ
と詰め込んだ。特製ボール方法で、高気圧でほたてを包んで旨味を閉じ込
めていきます！様々な料理にアレンジができます。ぜひご賞味ください。

青森県産ベビー蒸しほたて〔レシピ本付き〕

約500g (25~30個) **3,980**円 (税込) 送料 1100円 (税込)

約1kg (50〜80粒) **6,980円** 税別 **送料無料**

※送料別! 配達から365日間、配達後は冷蔵庫で3日以内にお召し上がりください。

陸奥湾のホタテが旨い!



同時に開かれた屋外会場には、こま
らみたっぷりの水が流れ込み、あ
たりのエサとなる栄養満点の天
鰯プランクトンがよく育ちます。

第1位
青島啤酒

便利な
レシピ本
着き!!!

料理に入れる
ワンランクア

大系タイムス

発行所

◎大系タイムス社

長野県大町市後町1851

〒398-0002

TEL0261(22)2110

FAX0261(22)2111

ホームページ

http://www.ohshtimes.co.jp/

Eメール(編集)

hoda1@ohshtimes.co.jp

Eメール(広告)

koukoku@ohshtimes.co.jp

購読料(1年)2,300円(税込)

1部100円

本紙購読申込所

長野(大町市)0261-22-1450

長野(大町市)0261-22-0583

長野(東部)0261-22-1450

長野(大町)0261-22-4784

長野(南信)0261-62-2533

長野(東信)0261-62-2252

日本(白鳥)0261-72-0024

日本(小豆)0261-72-0024

東京(八重)0263-61-2364

東京(豊田)0263-63-7878

東京(豊田)0263-73-3000

東京(豊田)0263-62-2312

新小学2校の校章決まる

大町 ライチヨウや「大」アレンジ

大町市教育委員会は
27日、令和8年4月に
開校する「大町北部小
学校」と「大町南部小
学校」の校章がそれぞれ決まったと発表し

「北部小のデザイン」

▽制作者・相模原直
さん(大町市)「大町
の鳥であり、特別天然
記念物でもある常鳥を
イメージしました。生
き物をシンボルにする

「南部小のデザイン」

▽制作者・岡田孝男
さん(大町市)「大町
南部小学校」の「大」ないずれも鳥類の
デザインの中から選
出。北部小は市の鳥に
指定されるライチョウ
をイメージ、南部小は
大町の「大」を星形に
アレンジしたデザイン
だ。校章の募集は、小学
校再編準備委員会で決
定された。再編準備委
員会では、ライチョウ
をイメージ、南部小は
大町の「大」を星形に
アレンジしたデザイン
だ。再編準備委員会で北
部小は市の鳥に指定
されるライチョウをイ
メージ、南部小は大町市は、ライチョウ
をイメージ、南部小は
大町の「大」を星形に
アレンジしたデザイン
だ。大町市は、ライチョウ
をイメージ、南部小は
大町の「大」を星形に
アレンジしたデザイン
だ。

相模一男さん死去 90歳

相模組 経済・文化・地域発展に尽力
前社長大町市の建設建設
業・相模組前社長で現
相模組の相模一男さんが26日午後6時半こ
ろ、死去した。90歳。
大町地域の建設業界や
経済界を長年にわたっ
てリードしてきた実力
者の死に悲しみが広が
っている。故人の意式は親族で密葬し、故
人を偲ぶ会は後日執り
行う予定。
相模さんは、昭和9
年に大町に親父の代か
ら続く相模組へ入社、に専務、51年に4代目
社長に就任した。日本
林業土木建築協会副会
長や建設業協同組合
連合会副会長など要
職も歴任。平成11年に
業務補助で建設業を
受託した。同社では平
成30年に会長、令和4
年から相談役となっ
てから毎日出社し、会
社を見守った。平成9年から16年未
だ、芸術文化発展にも
尽力した。頭を3期務めるなど、経
済界をけん引。親戚間
上へ水戸を生かしたボ
ケットパークを建設し
たり、近年まで早朝の
「JR信濃大町駅前清掃
」に取り組みなど地域活
動にも尽力した。早春
賦を愛唱する市民の会
会長、美術展ベストセ
レクション「信濃大町
」実行委員長など、多
岐にわたる活動で、大
町市文化発展に準備を進めている。校
章のほか、再校歌の
作曲・作詞者も決まっ
ている。スクールバス
利用の距離設定など通
学方法の議論も重ねて
いる。準備を進めている。校
章のほか、再校歌の
作曲・作詞者も決まっ
ている。スクールバス
利用の距離設定など通
学方法の議論も重ねて
いる。

HONDA 除雪機全シリーズ展示

特価店頭発表!

除雪機以外の
目録・祝日はお休み
となります

北安曇郡松川村 Open House

新築住宅見学会



ご予約不要

ZEH住宅 耐震等級3相当

12/7・8

校舎の生活環境
改善のため
実施します

多くの善意 多くの人に

大町商議所 女性会

大町商工会議所女性会(宮永玉子会長)は5日、大町市役所市民ホールで「フードドライブ」女性がつくるNIGIWAの会共催、大町ライオンズクラブ・大町商議所後援)を実施した。早朝から来や街話、レトルト食品などを持参した多くの企業や市民らが続々と訪れた。

家庭で余っている食品を持ち寄り、食べ物が必要とする人に広く提供する取り組み。毎回女性会の事業として多方面の協力を得て実施している。今回、市の職員らには事前に各部署ごと専用のかごを設置し、寄贈協力を呼び掛けた。

当日は市民をはじめ、賛同して下された



きしもの支援実地研修会。大北圏域での最終回を大町市の県大町合同庁舎で開いた。支援者をはじめ20人が参加し、「わからない・わからない・わからない」をテーマに、当事者と自分、そして地域との関わり方について考えた。

当事者理解についてトクセッションした。ひきこもりの問題は、ソーシャルネットワーク(社会的無関心)であること、支援員を出さない支援や、当事者の価値観を外の価値観とすり合わせるなどが大事であることなどに触れ、「この人と私との関わり方、地域の人の関わり方が大事。地域のひとと共有すること、で、生きやすい地域がつくれる」と述べた。

参加者が相談室での支援役と相談役に分かれて、ロールプレイを

お知らせ

「つくしの会」みんなの居場所

大町です

大町市総合福祉センター1階エントランスで開いている、市内の学習支援「つくしの会」による「みんなの居場所」ほっとスペースは次回、8日午後1〜3時に開く。学習支援や読み聞かせがある。参加無料。

大人も子どもも共に自由に学び、成長できる。

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

54・2443または

仕分け作業を行う会員ら

高など必要としている人は多い。多くの人に届けられるように、これからも頑張っていく」と話していた。



たくさんの食品が寄せられた

首長の動き

(各首長の都合により変更となる場合もあります)

◇2月7日(金)

【牛越大町市長】

定期監査報告(午前8時45分)、市防衛会議(午前10時)、連合自治会定期総会(午後2時)、北アルプス国際芸術祭実行委員会企画運営会議(午後5時半)・同総会(午後6時半)

【須沢松川・中村小村長】

大北農業パワーアップ研修会(大町市、午後1時)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)

(大町市役所)



全員で合唱も披露

元気いっぱい役演じきる 大町幼稚園



昔話をオリジナルストーリーで披露

大町市の大町幼稚園(寄村広美園長)で21日、恒例の「おもいで」に、昔話や創作オベ

レッタの練習の成果を、第7回長野県甘酒醸造組合会長賞を数量限定、700ℓで

か「」の行事が行われ、全園児が保護者らと共に、昔話や創作オベレッタの練習の成果を、第7回長野県甘酒醸造組合会長賞を数量限定、700ℓで

各クラスでは日頃親しんだ絵本などから題材を決め、昔話の「さるかにがっせん」もわたるこや創作オベレッタ、劇などを演じた。園児は場面の一つ一つで登場人物がどんな気持ちでいて、どんな表情がさわるのか、などと考え、練習に取り組んできた。大町市と小道具も自作したクラスもあった。

大町で居場所 ひとつとスヘス 3月8、22日 大町市総合福祉センターの「新エンタランスで開く、市内の「つくしの会」による「みんなの居場所」ほっとスペース」は3月、8日と22日に開く。両日ともに午後1時から3時まで、参加無料。勉強したい人のための学習支援も行う。

毎月2回、第2・4土曜日に実施する「みんなの居場所」。月ごとにテーマを決めて工作や読み聞かせ、歌、ボードゲームなどを楽しむ。3月の活動は「災害時にも役立つ折り紙」で、防災士を招いて災害時に備える学びを深める。

大人も子ども共に自由に遊び、成長できる「居場所」として開く取り組み。価格なども食費ネットワーク共催。手作りなどでも提供する、楽しいおやつタイムもあり。マイカンフーマイ食器持参歓迎。共に活動するボランティアスタッフも同時に募集している。

感染症の影響などで会場が使えない場合はお休み。問い合わせは深澤さん ☎090・4154・2443 また154・2443 また ☎0261・501まで。

昔話・創作オベレッタで「おもいでかい」

本番では練習の成果を披露。長いセリフをよどみなく交わし合い、自分の役を元気いっぱい演じきった。

各クラスで力を合わせた作り上げたステージは、それぞれ大きな拍手とともに大成功のうちに幕を閉じた。園児らは満面の笑顔でやり遂げた達成感を味わっていた。

大町市大町相生町通は、北安大園「蔵け」が好評。アルコールを加えていない。「ひな祭り」の食卓日本酒醸造の「こじる伝統の技を生か酒蔵で、社氏・蔵人じの甘酒。ふくよかやかな酸味があり、第7回長野県甘酒醸造組合会長賞を数量限定、700ℓで

情報：
プレミアム
TEL
FAX
メール/koukoku@ohito
情報はメールがメインでお寄せください
掲載の可否および時期は本紙にて
原則として掲載できません。以上です



大町市大町相生町通は、北安大園「蔵け」が好評。アルコールを加えていない。「ひな祭り」の食卓日本酒醸造の「こじる伝統の技を生か酒蔵で、社氏・蔵人じの甘酒。ふくよかやかな酸味があり、第7回長野県甘酒醸造組合会長賞を数量限定、700ℓで



新鮮な県内産 老舗精肉店「

大町市仁科町・本屋」は、伝統ある老時代の記録が伝わり、依頼飯店で店頭販売。確かな品質の新鮮り扱い。おなじみ、ス、バラ(写真は例)、約にてトンカツ用。池田町産の信州う。ビーフは信州チキンは信州福味鶏はの価格も魅力的。5時頃(受け渡し時)休。☎0261・20218。

写真サードス

本紙記者が撮影し、紙面に掲載された写真を



yuka1587の投稿



他の投稿を見る



みんなの
居場所

ほっとスペース

学習支援あり

子どもから大人まで、楽しくおしゃべりしませんか？
だれでも参加 OK！

いろいろな工作やかんたんな食べものをつくり、
そして時にはみんなであそぼう！
みんなの居場所として、気楽に参加しませんか？

- ◆いつ？ 第2・4土曜日 13:00～15:00 月2回を予定
- ◆どこで？ 大町市総合福祉センター1F エントランス
- ◆だれが？ 1人でも、親子でも、友達と一緒にでも OK！
- ◆なにを？ 工作・音楽・各種ゲーム

勉強したい人の学習支援もあります

**毎月第2・4土曜日は
福祉センターへ行こう！**

**スタッフ
募集!!**

一緒に活動
しませんか？

- ・ 工作・音楽・各種ゲーム
- ・ みんなで楽しい おやつタイムあり
フードドライブよりお菓子など提供もあり
- ・ 飲み物またはマイカップ、マイ食器は持参推奨

**手作りおやつを
できるだけ提供**

【主催】 学習支援 つくしの会 (代表 平林みえ・吉岡博子・深澤優子・大野広樹)

【共催】 NPO ホットライン信州 (信州こども食堂ネットワーク)

【協力】 大町市社会福祉協議会

【問合せ】 深澤Phone (090-4154-2443)・大町市社協 (22-1501)

※ 感染症の影響等で会場が使えない場合はお休みします。



みんなの
居場所

ほっと

スペース

学習支援あり

子どもから大人まで、楽しくおしゃべりしませんか？

だれでも参加 OK !

いろいろな工作やかんたんな食べものをつくり、
そして時にはみんなであそぼう！

みんなの居場所として、気楽に参加しませんか？

◆いつ？ 第2・4土曜日 13:00～15:00 月2回を予定

◆どこで？ 大町市総合福祉センター1F または3F

◆だれが？ 1人でも、親子でも、友達と一緒にでも OK !

◆なにを？ こちらで用意できるもの

勉強したい人の学習支援もあります

- ・ 工作・音楽・各種ゲーム
- ・ みんなで楽しい おやつタイムあり
がんばりやさんのパンや
フードドライブよりお菓子など提供
- ・ 飲み物(マイカップ、マイ食器は持参推奨)

**スタッフ
募集!!**

一緒に活動
しませんか？

開催日(予定)

3月8日(土) } エコで災害にも役立つ折り紙
3月22日(土) }

4月12日(土) モルック体験

4月26日(土) モルック体験 12:00～カレーランチ付き
(裏面参照)

【主催】 このみ子ども食堂・つくしの会

【共催】 NPO ホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク)

【協力】 大町市社会福祉協議会

【問合せ】事務局：深澤Phone (090-4154-2443)・大町市社協 (22-1501)

※ 感染症の影響等で会場が使えない場合はお休みします。



みんなの
居場所

ほっとスペース

とスペース

学習支援あり

子どもから大人まで、楽しくおしゃべりしませんか？

だれでも参加 OK !

いろいろな工作やかんたんな食べものをつくり、
そして時にはみんなであそぼう！

みんなの居場所として、気楽に参加しませんか？

◆いつ？ 第2・4土曜日 13:00～15:00 月2回を予定

◆どこで？ 大町市総合福祉センター1F または3F

◆だれが？ 1人でも、親子でも、友達と一緒にでも OK !

◆なにを？ こちらで用意できるもの

勉強したい人の学習支援もあります

- ・ 工作・音楽・各種ゲーム
- ・ みんなで楽しい おやつタイムあり
フードドライブよりお菓子など提供
- ・ 飲み物、マイカップ、マイ食器は持参推奨

スタッフ
募集!!

一緒に活動
しませんか？

開催日(予定)

4月12日(土) モルック体験

4月26日(土) { モルック体験
12:00～カレーランチ付き
(裏面参照)

【主催】 このみ子ども食堂・つくしの会

【共催】 NPO ホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク)

【協力】 大町市社会福祉協議会

【問合せ】事務局：深澤Phone(090-4154-2443)・大町市社協(22-1501)

※ 感染症の影響等で会場が使えない場合はお休みします。

だれでも参加 OK！

みんなの
居場所

ほっとスペース

学習支援あり

子どもから大人まで、楽しくおしゃべりしませんか？
いろいろな工作やかんたんな食べものをつくり
そして時にはみんなであそぼう！
気楽に参加しませんか？

- ◆いつ？ 第2・4土曜日（月2回を予定）
- ◆どこで？ 大町市総合福祉センター1F または3F
- ◆だれが？ 1人でも、親子でも、友達と一緒にでも OK！
- ◆なにを？ 遊び・学習・飲食など

勉強したい人の学習支援もあります

- ・工作・音楽・各種ゲーム
- ・みんなで楽しいランチやおやつタイムあり
- ・フードドライブよりお菓子など提供
- ・飲み物 ・マイカップ、マイ食器は持参推奨

ボランティア
スタッフ
募集!!

一緒に活動
しませんか？

ランチは3日前(水)まで
にご予約下さい

☎090-4154-2443(深澤)

開催日時・場所・内容

6月14日(土)	13:00~15:00	1Fにて	おやつタイムあり
6月28日(土)	12:00~13:00	3Fにて	13:00~15:00 モルックであそぼ！
		サラダそば&うどんランチ	
7月12日(土)	13:00~15:00	1Fにて	おやつタイムあり
7月26日(土)	12:00~13:00	3Fにて	13:00~15:00 英語であそぼ！
		具だくさんソーメンランチ	

ゲスト：サムエル・ピッチ先生
(英会話教室フォレストヒル講師)

- 【主催】 つくしの会(代表：平林みえ)
【共催】 NPO 法人 ホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク)
【協力】 大町市社会福祉協議会
【問合せ】 事務局：深澤優子 Phone:090-4154-2443・大町市社協:0261-22-1501
※ 感染症の影響等で会場が使えない場合はお休みします。

2024 年度 月と風の子ども基金 冠寄附・助成プログラム助成対象事業実績報告書

2025 年 4 月 28 日

公益財団法人長野県みらい基金
理事長 高橋 潤 様

所在地	〒399-9301 北安曇郡白馬村北城 3020-1157
団体名	一般社団法人 HOLUHOLU
代表者 職・氏名	代表理事 吉田 絵美

冠基金「月と風の子ども基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

思春期・青年期の子どもたちの友達づくりの SST PEERS プログラム

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 10 月 16 日 ～ 2024 年 12 月 25 日

3 申請事業の概要

(助成申請書の内容を転記してください)

【事業活動で目指すこと】ASD の子ども達には、社会的なコミュニケーションや人間関係に課題があるという特性がある。特に思春期に友達を作ることや、人との関係をうまく維持することに社会適応に困難を抱えやすい。それをサポートするための SST へのニーズは高い一方で、社会資源は脆弱。幼少期の SST は児童通所支援等で提供されることもあるが、思春期は発達課題も異なるため、課題に応じたプログラムを実施し、困難さを和らげる機会を提供すると共に普及啓発に努める。友達に認められることがとても重要だと感じる発達段階である思春期の児童を対象に、認知行動療法と保護者のサポートをベースにした SST を実施。

【活動内容】思春期の自閉スペクトラム症 (ASD) や社会性に課題のある子ども達に向けに作成された PEERS®プログラムを認定講師とスタッフ 2～3 名で実施。1 クール 14 回で 1 グループ定員 10 名程度。対象児童は、中学生～高校生とその保護者。大北圏域の公共機関で実施。広報は、法人 HP 及びローカル新聞・フライヤーの配布で行う。

4 実施した取り組み

(日時・場所・活動内容・参加人数など)

(様式第6号)

【日時】 2024年10月16日(水)～12月25日(水) 16:00～17:30
10/16, 23, 30 11/6, 13, 20, 27 12/4, 25
【場所】 松川村生涯学習センター グリーンワークまつかわ
【活動内容】 友達づくりの SST PEERS プログラム
【参加人数】 2名 ※3名申し込みあり、1名は参加出来なかったため、相談支援のみ。
講師1名+スタッフ2名でサポート。

5 活動の成果

(この取り組みでどのような変化が生まれたか・達成できたことや達成できなかったことなど)

大北圏域内の4市町村の教育委員会からの後援を受けて、広報をすることが出来た。
参加者は、2名であったが、プログラムに参加することで、日常生活場面においても対人関係(コミュニケーション)についての新たな気づきを得られる機会を持てた様子。
また、同時に開催した保護者向けプログラムでは、親子での関わり方を見直すきっかけをつかみ、子育てに関する不安や焦りの軽減につながった様子。

6 今後の活動の展望

(今後どのように活動を継続・展開していくか)

思春期・青年期に対するサポートを行うリソースが少ないことは、圏域でも課題となっている。今回の実践を踏まえ、参加しやすい回数や時間等を工夫してワークショップを開催する等、継続的な活動実施に努めていきたい。中信地域でティーンを応援する会「ラ・シーク」の中でプログラムを部分的に実施することも検討している。
当法人では、中高生の居場所・多世代交流拠点を立ち上げるための活動を開始するので、その中でも、社会的なコミュニケーションや人間関係に課題があるという特性がある ASD の子ども達をサポートしていきたいと考えている。

7 寄付者の皆様へのご報告やメッセージ

この度は、助成をいただき、ありがとうございました。
お子さんやご家族だけでなく、スタッフの育成や地域への普及啓発にもつながる良い機会を持つことができました。
今後は、今回の活動を踏まえ、多くの子ども達への恩恵につなげていけるよう、当法人の活動として開催方法等を工夫しながら継続をしていきたいと考えております。

8 事業の実施状況を示す書類(添付書類)

項目	チェック欄
収支報告書(様式第6号・別紙)	☐
収支報告書の証拠書類(領収書の写し等)	☐
活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)	☐
本助成金で実施した事業のことが掲載された団体の広報物や新聞等(該当するものがあればお送りください)	☐

※実績報告書および添付書類は、電子データにてメールでご提出ください。

※電子データでの提出が難しい場合は、郵送または持参でご提出ください。

【提出先】

公益財団法人 長野県みらい基金 松本事務所
〒390-0852 長野県松本市島立1020 松本合同庁舎2階
TEL: 0263-50-5535 FAX: 0263-50-6561
E-Mail: matsumoto@mirai-kikin.or.jp



PEERS®プログラム

一般社団法人 HOLUHOLU
2024年10月16日



<PEERS®の効果>

- ① 社会の中での社会的なふるまい（ソーシャルスキル）の知識が身につきます。
- ② コミュニケーション能力が向上します。
- ③ グループでスキルを使いながら楽しく遊び、実践力をつけられます。



<他のSSTと何が違うの？>

- ① 科学的な効果があることが証明された数少ないSSTです。
- ② 自閉スペクトラムの特性のある子どもたちが苦手とするスキルにフォーカスされています。
- ③ 思春期の子どもたちを対象にしています。
- ④ スキルを日常に般化（定着）していく仕組みがあります。

<参加までの流れ>

- ① 申し込み
(10月5日締め切り)
- ↓
- ② 親子+スタッフで面談
- ↓
- ③ 参加決定の連絡
- ↓
- ④ 参加費の支払い
(当日までに)

★助成金について★

「月と風の子ども基金」令和5年度に大町市出身の男性の方からの寄付により創設されました。この基金は子どもたちの笑顔が北アルプスの里や街中にあふれるような草の根の取り組みを応援し、北アルプスの子どもたちに安心と楽しみを届けるための基金です。今回は参加費減額に活用させていただきます。

参加費 15000円は自己負担としてお支払い、減額分5000円は領収書(助成金報告用)をご記入いただきますので、ご了承下さい。

<どんなことをするの？>

毎回、リーダー(講師)やコーチ(サポートスタッフ)と共に小集団形式でセッションを行います。

ロールプレイなどの練習をしながら、双方向の会話のしかたや、ユーモアの適切な使い方、からかい言葉への対応方法等について学びます。

PEERSプログラムは14セッション全てを実施することでスキルが身につくように構成されていて、学ぶ順番や積み重ねも効果的に学ぶための重要な要素です。

※今回は、14回のうち10回を実施します。ご希望があれば、残り4回を来春にオプションプログラムを実施する予定です。(参加費別途)

※12月25日は、2回分のセッションとなります。

<保護者の方へ>

通常の思春期版のプログラムは、子どもと保護者に分かれて、同時にセッションを行います。

今回は、保護者セッションは別日にオンラインにて4回実施をします。

※予定(変更の可能性あり)
10月21日(月)15時～
→20日(日)13時～
11月4日(月)15時～
11月25日(月)10時～
12月17日(月)10時～
→18日(水)15時～

各回のお子さんたちが学んでいる内容については、書面で共有します。書面を読みながら、お子さんの宿題の応援をしてあげてください。





思春期・青年期の子どもたちのための友達づくりのSST

PEERS®プログラム

PEERS® (Program for Education and Enrichment of Relational Skills)とは、米国 UCLAの研究者によって思春期の自閉スペクトラム症(ASD)や社会性に課題がある子ども達向けに作成されたプログラムです。子どもグループと親グループそれぞれ全14回のプログラムに参加していただきます。UCLA 認定講師がプログラムを実施します。

<PEERS®で学べるスキル例>

- ・友だちと楽しく会話する方法
- ・自分にあった友だちの見つけ方
- ・電話・ネット・SNS の使い方
- ・会話に入る／会話から抜ける方法
- ・ユーモアの適切な使い方
- ・友だちと楽しく遊ぶためのルール
- ・からかい/いじめへの対応方法
- ・思いのすれ違いへの対応方法



【対象】 小学6年生～高校生とその保護者 10組程度

【期間】 2024年10月16日(水)～12月25日(水)

10/16.23.30 11/6.13.20.27 12/4.25

【時間】 16:00～17:30 12/25 13:30～16:30

【場所】 松川村生涯学習センター グリーンワークまつかわ

【料金】 全10回 15000円 (お休み等での返金はありません。)



★今回のみのお得価格です★

※通常:全14回42000円 → 初回限定:短縮版 10回20000円

※2024年度「月と風の子ども基金」助成により、20000円⇒15000円

【申し込み方法】 申し込みフォームから入力 又は メール(10月13日締め切り)

QRコード

申し込みフォームURL

<https://forms.gle/9XMXGWUCYdZApzrWA>

メール

holuholu0804pono@gmail.com

【後援】 大町市教育委員会、松川村教育委員会
白馬村教育委員会、池田町教育委員会



2024年度「月と風の子ども基金」助成金実績報告書

2025年 8月31日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 北安曇郡小谷村千国乙11064ゆきわり草

団体名 わくわくおたり

代表者職氏名 北村 順二

印

2024年度「月と風の子ども基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

2024年度「月と風の子ども基金」

2. 助成金活動内容（この事業で具体的に行ったこと）

不登校の子どもの平日の居場所「いいどこ」。月に1度、数年前まで自宅を宅老所として提供していた80代の移住者夫妻の自宅で、子どもが1日過ごす。

頻度：主に月に1回 時間：9時～15時（お昼付き） 内容：1日夫妻宅で過ごす日もあれば、昼食の買い物にみんなで出かけたり、夫妻宅を飛び出し、別の場所で過ごすこともある。子どもの希望を聞きながら、地域の協力者にサポートしてもらっている。

また、今期は団体として別事業にてゲストを呼び地域向けの勉強会を行ったため、当初予定していた視察を行わなかった。

備品としては子どもが音楽を流すために使っているBluetoothスピーカーを、毎回スタッフの私物を持ち出していたが、この助成金と親御さんからいただいた寄付を使い、団体として購入した（イベント等でも使えるもの）。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

2023年秋に開始し、小学生3名が毎回利用していた。1名が2024年夏に学校に行きはじめ、もう1名も秋から通学し始めた。現在毎回の利用は1名となったが、同じように開催している。子どもは自分から「これがやりたい」子どもと一緒に時間を過ごすことに重きを置いているため特別なことはしないが、タイミングをみて子どもの思いを聞くようにしている。保護者にはLINEで様子を伝え、送迎の際時間があれば子どもも交え、夫妻やスタッフとお茶を飲み、今日やったことや世間話をしている。必要なときは、同意を得て学校等に情報提供も行う。

夫妻も子どもや孫が遠方で暮らしているため、「いいどこ」の開催を楽しみにしている。夫妻との関りは子どもや保護者、またスタッフやボランティアにとっても楽しい時間となっている。日常的な関りをもっているため、おじいちゃんの様子に違和感を覚え、保護者やスタッフが連携し子どもにも協力してもらい、受診につながったこともある。

4. 寄付者様へのご報告（メッセージ）

昨年に引き続き温かいご支援をありがとうございました。活動もなんとか2年目に入り、まもなく3年目を迎えようとしています。子どもたちと一緒に私たち団体も紆余曲折ありながら前に進んでいます。

もともと子どもが多くはない小谷ですが、活動開始前に気になっていた子どもが実際に毎回足を運んでくれ、小さいキャパで月1度という頻度での活動でも、自然と関係を築いてこられたように感じています。私たちはただただ子どもたちと時間を共にしていただけですが、この「いいどこ」を利用していた児童が二人学校に戻れたことについて、小学校の校長先生や教頭先生から思いがけず感謝の言葉を頂戴し、ほんのわずかであっても子どもたちに寄与できたことがあったのであれば、この活動をやっている良かったと思います。

気楽に楽しくやる一方で、子どもの年齢や自宅を快く使わせてくれている夫妻や団体メンバーの状況など時間が経つにつれ変化が生まれ、当初とは違ってきたところもあります。これまでもこれからも変わっていくことをポジティブに捉え、今、自分たちができることをできるスタイルでやっていくということは変わらず大切にしながら、今後も微力ではありますが子どもたちや保護者さん、地域の協力者さまなどに支えられながらこの活動を続けていきたいです。本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

みんなのいいとこ

いいとこ

3/14 金

時間 9時～15時

場所 小谷村 立屋岩田家

お昼

まだ決まってません

持ち物

① 飲み物

② 使いたいもの

運営 わくわくおたり

(まちづくりや居場所を2018年からやっています)

連絡先 wakuotari@gmail.com



いろんな
ことをし
てみよう











